

君津健康福祉センター運営協議会の開催結果について

1 開催日時 令和6年11月1日(金) 午後2時から午後3時15分まで

2 開催場所 木更津市新田3-4-34
君津健康福祉センター 3階 大会議室

3 出席者等

(1) 委員 16名 (欠席7名)

渡辺芳邦委員、石井宏子委員、高橋恭市委員、粕谷智浩委員、
古谷隆則委員、成瀬拓矢委員、鳥飼紀子委員、川名寛章委員、
渡辺務委員、佐々木晴代委員、大野泰代委員、出口文子委員、
林和子委員、竹内三郎委員、野村典子委員、潤米壽美子委員

(2) 君津健康福祉センター事務局職員 11名

センター長 金井要、副センター長 峯島喜明
副センター長 山本史子、副センター長 小林文孝
地域保健課長 加藤木好美、地域福祉課長 小野隆司
疾病対策課長 三崎和代、生活衛生課長 田崎穂波
検査課長 大谷理砂、食品機動監視課長 肱岡直樹
監査指導課長 高橋昌士

(3) 傍聴者 0名

4 議事

(1) 君津健康福祉センター主要事業等について

君津健康福祉センター副センター長3名が、各課の主要事業等について別添資料及び令和5年度事業年報を用いて説明した。

峯島副センター長

全体に関すること、総務企画課及び監査指導課の主要事業について

山本副センター長

地域保健課及び地域福祉課の主要事業について

小林副センター長

疾病対策課、生活衛生課、食品機動監視課、検査課の主要事業について

(質疑応答等)

富津市長 高橋委員 (狂犬病予防事業について)

この会議に来る途中で、狂犬病が猫にも感染するというような掲示物を見た。

富津市は公園や漁港で野良猫を見かけることが多く、市民の方が野良猫と接触している様子をよく見かけるが、猫の狂犬病は、犬の狂犬病と同じくらい危険なものなのか。噛まれたら感染するのか。

君津健康福祉センター長 金井

狂犬病は哺乳類の病気であるため、猫のみならず、コウモリやキリン等にも感染する。

狂犬病に感染した猫にかまれたときのリスクについては、犬と同程度である。

また、咬まれたことによる感染のほか、飛んできた唾液を飲み込むこと等でも感染することがあるといわれている。

袖ヶ浦市長 粕谷委員 (狂犬病予防事業について)

保健所は狂犬病予防法により犬を捕獲できることになっているが、猫は動物愛護法で保護する対象となっている。

今の話によると猫にも狂犬病リスクがあるとのことだが、衛生を保つためにどのような対応をとればよいのか。

君津健康福祉センター生活衛生課長 田崎

日本は狂犬病の清浄国とされており、狂犬病ウイルスを持った動物は国内に存在しないと考えられている。

そのため、現状国内で感染するリスクはほぼないと考えてよい。

国外の動物は感染している可能性があるため、海外で犬に咬まれた等、感染が心配される場合は、検疫により厚生労働省が対応している。

保健所は狂犬病予防法に基づいて犬の捕獲をしているが、猫は対象動物にはなっていない。

市民の方から猫についての相談をよくいただくが、猫の捕獲はできない。

下線の部分について、説明が不足しておりましたので、補足いたします。
国外の動物は狂犬病に感染している可能性があるため、海外で犬等に咬まれた場合は、現地の医療機関を受診し、帰国時に検疫所に相談していただくことをお勧めします。

なお、動物への対応としては、輸出入しようとする動物種により、必要な手続きが異なり、犬、猫、あらいぐま、きつね及びスカンクについては狂犬病予防法、また家畜については家畜伝染病予防法に基づき輸出入検疫が必要です。

その他の動物については、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき輸入時の届出が必要です。

輸出入検疫は農林水産大臣が所管し、輸入時の届出については厚生労働大臣が所管しています。

袖ヶ浦市長 粕谷委員（献血推進事業・骨髄バンクについて）

献血者数が目標値の 200 パーセント以上達成しているということで、感謝申し上げたい。

本市には、再生不良性貧血でドナーを探しているお子さんがいる。献血の際にドナー登録をしていただける方が増えればそのお子さんの将来にもつながるかもしれない。

献血、ドナー登録について引き続き御尽力いただきたい。

君津健康福祉センター長 金井

保健所でも月に一度、骨髄バンクの登録を受け付けている。

最近では市民の方も、自分の知っている方が骨髄を必要としているということで登録に来られることが多く、意識が高いように感じる。

君津市長 石井委員（DV 対策事業について）

厚い資料（令和 5 年度事業年報）の 87 ページ、配偶者暴力総相談件数が令和 4、5 年度と増えているようだが、背景についてどのように分析しているのか。

また、発表の中で DV 相談支援状況総数 151 件、DV に関する相談は 60 件となっていたが、DV に関する相談でない相談というのはどのような内容の相談

なのか。

君津健康福祉センター地域福祉課長 小野

DV が必ずしも身体的なものだけでなく、精神的な暴力、モラハラも DV になるということが社会に浸透し、自分も DV にあっているのではないかと考え、問い合わせ、相談する市民が増えたことが DV の相談件数が増えている背景にあるのではないかと考えている。

DV 相談支援の実態については、かつては DV 相談をしていたが、最近ではほぼ毎日生活に関する相談をされる方がいらっしゃり、その件数が含まれている。

君津市長 石井委員

コロナの影響はないのか。

君津健康福祉センター地域福祉課長 小野

もちろんコロナにより自宅で一緒にいる時間が増えたことも要因としてあり得るが、統計的な内訳までは出していない。

君津市長 石井委員

令和 6 年度の傾向はどうか。

君津健康福祉センター地域福祉課長 小野

9 月末現在で 151 件であり、昨年度の総数の半分を少し下回っている。
少し減少傾向かもしれない。

下線の部分について、説明が誤っておりましたので、訂正いたします。

「9 月末現在で 151 件であり、昨年度の総数の半分を少し下回っている。
少し減少傾向かもしれない。」

との説明がありましたが、令和 5 年度総数は 232 件であるため、正しくは

「9 月末現在で 151 件であり、昨年度の総数の半分を少し上回っている。
少し増加傾向かもしれない。」

となります。

君津市長 石井委員

児童虐待とも関連してくることなので、DV の配偶者の保護については他市町村と連携しながらしっかりと対策を取っていかなければならない。引き続き連携をとりながら弱い立場にある方の状況を守っていききたい。

女性支援の新法に触れていただいたが、引き続き様々な対策をしていきたい。

君津健康福祉センター長 金井

保健所として DV に関する会議を開くことがあるが、市町村でもそのような会議がある場合は、保健所スタッフも参加して現状や意見を述べるよう協力していきたい。

(2) その他

事務局から、特になしと回答があった。

5 意見等

君津健康福祉センター長 金井（災害時保健医療活動について補足説明）

9 月に実施した内閣府主催の大規模災害の訓練では、君津中央病院の DMAT のほか、北海道や大分の DMAT も君津中央病院に来て訓練した。

君津保健所は君津中央病院内に合同救護本部を設け、病院や診療所等の機能を確認した。今年 1 月の能登半島地震で課題となった福祉施設との連携が困難だったことを受け、今回の訓練では、被災した福祉施設の状況も確認し、連絡が取れない場合は現地調査も行うという新しい取り組みも行った。

福祉施設で停電や断水、交通遮断等が起きた場合は、いろいろな関係機関が関わって支援しなければならない。

また、在宅で人工呼吸器や酸素ボンベなどを使用している患者については、保健所は難病患者の使用状況、市は福祉の方で使用している市民について把握しているが、全体像を把握していないことが分かった。

在宅で呼吸器を使っている方で、停電により酸素ボンベの残量がもう少しになっても、誰にも伝えられない人がいるという課題を県にフィードバックしている。